



SANJO ROTARY CLUB

三条ロータリークラブ

2008.5.21 (No.2503) 週報 No.42

第2560地区ガバナー／渡辺敏彦
会長／荻根澤隆雄
会長エレクト／中村和彦(クラブ奉仕A)
副会長／菊池渉(クラブ奉仕B)
幹事／杉山幸英
S A A／浅野金治
会計／山田富義

例会日／毎週水曜日 12:30～
例会場及び事務局／
三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内
例会場／TEL 34-3311
事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail: sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
(“はshiftを押しながら“へ”のキーを押してください)

■本日の出席会員数:63名中42名
■先々週出席率:88.52%

【ヴィジター】

三条北RCより
・山上茂夫さん

【先週のメイクアップ】

[5.15] 三条東RCへ

・丸山行彦さん、菊池 渉さん
・加藤紋次郎さん、成田秀雄さん
・武田真二さん、熊倉昌平さん
・石橋育於さん

[5.16] 吉田RCへ

・西川文夫さん

[5.17] 地区協議会へ

・中村和彦さん、石月良典さん
・荻根澤隆雄さん、小林敬典さん
・武田真二さん、西川文夫さん
・榊山 仁さん、熊倉博之さん
・高森章仁さん、杉山幸英さん
・佐野勝榮さん、伊藤寛一さん
・高橋 司さん、会田二郎さん
・山田富義さん、渡邊喜彦さん
以上16名

[5.18] 新津中央RC30周年へ

・荻根澤隆雄さん、杉山幸英さん



「ロータリーは分かちあいの心」
2007～2008年度国際ロータリーのテーマ



安田の「世界の洋らん展」にて①

会長挨拶

荻根澤隆雄 会長



17日(土)開催の地区協議会に出席された会長・幹事両エレクト、次年度の委員長様、地区役員の皆様大変にご苦勞様でした。

また、地区よりの要請でお手伝いをして頂きました渡辺稔会員と若槻会員そして事務局の田中さん共々大変にお疲れ様

でした。ありがとうございました。

さて、北京オリンピック開催国であります中国当局の言動に些か不満と言いますか今迄以上に不信を抱いている昨今です。ギョーザ事件にチベット自治区での問題、聖火リレーに於ける対応も含め中国のやり方に恐らく拍手喝采の日本人はいないと断言致します。

先の胡錦濤国家主席来日に関しても福田総理も含め日本側の対応と中国の姿勢に非難めいた話をしたいんですが、ご存知の様に中国は四川大地震災害で、大変な状況でもありますので事態を鑑みてその話は止めて太平洋の向うの話をさせて頂きます。

アメリカの大統領予備選挙ですが、どうやら民主党の大統領選候補にも答が出た様な感じです。

渦中のヒラリークリントン夫妻の事で中央公論の今月号にジャーナリストでもある早坂隆氏の次なるジョークが載っていましたので紹介致します。

クリントン夫妻がピザ屋に入った。
すると一人のボーイがヒラリーに声を掛けた。

「やあ、ヒラリー 僕だよ、久しぶり！」
 二人は暫らく仲良く会話をしていた。
 ボーイが厨房に戻るとビルが聞いた。
 「あの男は誰だい？」
 「ハイスクール時代のボーイフレンドよ、とっても
 いい人なの。」
 それを聞いたビルは笑みを見せながら言った。
 「しかし、君もラッキーな女だな」
 「どうして？」
 「だってそうだろう？もしあの男とそのまま付き合
 っていたら、今頃は元大統領夫人じゃない。ピザ
 屋の奥さんだぜ？」
 するとヒラリーが言った。
 「それは違うわ。もしあの人とずっと付き合ってい
 たら、あの男が大統領になっていたのよ。」

日本なればこそアメリカ流のジョークが受け入れ
 られるのでしょうか、良くて悪くても何でも受け
 入れちゃう日本、大変に自由であります。ヒラリー
 頑張れ～
 何れにしろ世界経済に最も影響が大きいアメリカ
 の大統領選挙、興味深く見守りたいと存じます。
 挨拶終わります。ありがとうございました。

幹事報告

杉山幸英 幹事

◎5月27日(火)、28日(水)は家庭会合です。

欠席の方はかならず事務所へ連絡してください。

と き 5月27日(火)、28日(水) PM6:30～

ところ 越前屋ホテル

ニコニコBOX

荻根澤隆雄さん

大変に心地良い天気です。

今日は佐藤先生、宜しく願い致します。

佐藤 武さん

下手な卓話で、皆様に辛抱して頂くことを申し訳
 なく思います。

山田富義さん

佐藤先生、卓話ご苦労様です。

来年度の職業奉仕委員会、宜しく願いします。

菊池 渉さん

昨日、結婚30年目の記念日でした。

初めて、家内と二人で食事をして、お互いの労を
 ねぎらいました。

高森章二さん

山菜が実においしいシーズンです。

五十嵐力さん

三条まつり、天気が良く、行列参加者も多く、盛大
 に行われて良かったですね。

野崎喜一郎さん

日曜日には海に行ってヨットに乗っています。

とても、さわやかです。

杉山幸英さん、野水文治さん、長谷川有美さん

五十嵐昭一さん、小林敬典さん、帰山 肇さん

若槻八十彦さん、樺山 仁さん、船越正夫さん

丸山行彦さん、会田二郎さん、明田川賢一さん

金子俊郎さん、川瀬康裕さん、石月良典さん

佐藤会員、卓話ご苦労様です。

楽しみにしております。

成田秀雄さん、石倉政雄さん、五十嵐浩さん

都合で早退します。申し訳ございません。

5月21日分 ￥ 29,000

今年度累計 ￥1,381,500

卓 話



佐藤 武会員

皆様こんにちは。クラブ会報、雑誌、広報、クラブ資料委員の佐藤でございます。

皆様、ご存知の様に5年前に4つの委員会が統一されて、クラブ会報、雑誌、広報、クラブ資料委員会という長い名前の委員会ができ、現在に至っております。今年度は日戸先生、阿部さん、明田川さん、田中さん、平原さん、若槻さんと私、7人で担当しております。今日は前半にクラブ会報にまつわる話をし、後半は雑誌委員として卓話をさせていただきます。と申しますのは4月が雑誌月間で4月2日に雑誌委員として卓話をするよう年間のスケジュールが組んであったのですが、諸般の事情で1か月遅れで今日話をさせて頂き責任を果たしたいと思っております。クラブ会報だけでも大変なのに、その上3つの委員会とは、それは大いに大変ですねと思われる方に少し事情をお話し、実のところたいして大変ではないという話をし、来年度担当なさる方々に対して、肩の荷を軽くすることができるメッセージにもなればと思っております。

クラブ内の事ですので、ほとんどの皆様が良く知っていらっしゃる事です。その事を落ちの無い様、極端に間違った事を言わない様、お話しするという事は話し下手な私にとりまして、少し難しいことです。

では、合併した4つの委員会は働きがそれぞれ違いますのでそれをバラバラにして、1番目に雑誌委員からお話し致します。1年間の仕事として雑誌月間に卓話をすれば、雑誌委員として責任を果たせると思っております。合併以前、6年前まではその様であったと記憶しております。4月が雑誌月間なので、そんなところに少しこだわりました。

2番目は広報委員の仕事です。仕事内容は新聞週間による広告掲載、三条大祭の広告等で、会長以下、理事の方々が三条ロータリークラブの活動を世間に知って頂く為に色々な形で働いていらっしゃいます。私共7人はこの仕事に携わっていません。

3番目がクラブ資料委員としての仕事です。事務局の田中さんから一手に引き受けて頂き、7人は働いておりません。事務量の多い中、田中さんありがとうございます。ここで4つの仕事の内3つをお話ししました。このようにお話し致しますといかにもクラブ会報、雑誌、広報、クラブ資料委員が仕事を怠けて広報、クラブ資料の仕事在世間でいう「まるなげ」

しているように受け取られがちですが、実際はそうではなく、委員会名だけが、最初にありまして仕事がかかったのです。これは、会長以下理事の方々、また事務局の田中さんの温情でクラブ会報は大変だから、広報、クラブ資料の仕事を助けてあげようということではないかと、私共は有難く感謝こそすれ、「まるなげ」している気持ちはありませんで御協力有難く思っております。4番目がクラブ会報、またの名は週報です。毎週皆様の手元に配られますのでその説明は不要ですがこれに纏わることをお話ししたいと思います。1ページ目は会長挨拶と幹事報告です。荻根澤会長は就任当初よりクラブ会報は大変だから会長挨拶の文章はきちんと原稿を出すから心配しなくて良いと言われ、言行一致そのもの毎回原稿をいただき、私共クラブ会報委員は助かっております。荻根澤会長、本当にありがとうございます。私は十数年前2年連続で会報委員の担当となりましたが、その時は会長挨拶はテープレコーダーを廻し、原稿はいただけなかった様に記憶しております。幹事の杉山さんからも毎週の記録を有りがたく思っております。2ページ目が、ニコニコボックスの記録と卓話です。スマイルボックスの委員の皆様ありがとうございます。そして、誰もが大変だと思っている卓話ですが、これは内部卓話と原稿の頂けない外部卓話に区別しないとイケません。内部卓話は長年の習慣で卓話をなさる方から原稿をいただいておられます。卓話をして頂く会員が原稿を書いて提出していただけるということは週報に対して最大の協力者であり、言い換えれば1日週報委員と同じわけです。会員である以上内部卓話とはどなたがなさっても、どなたにお願いしてもいいわけで、その意味において、全会員がクラブ会報の1日クラブ会報委員であるわけです。週報委員として大変有りがたく、壇上から申し訳ございませんが、全会員の皆様に感謝申し上げます。さて難物は原稿の頂けない外部の卓話でございます。専門用語が多く用いられたり、人名が頻繁に出たり、通訳のいるようなきつい方言の卓話はテープからの書き取りが大変です。テープを短く繰り返し、反復して聴き取りながら、書き取っていくのですが、専門用語や人名は発音が同じでも漢字を間違えると意味不明になりますし、人名の場合は大変失礼なことになります。一例をあげますと今年度のガバナー公式訪問の時の渡辺ガバナーのお話しは、立板に水が流れるような流暢な話し方で、アナウンサーに劣らないスピードでした。お話しの内容も濃く、人名も入り、長かった様に思います。人名を間違えると失礼にあたりますので、インターネット等

で探したりして、一晩徹夜でした。私の能力の無さをつくづく感じた一夜でした。そして、やっとできた文章を事務局の田中さんに届けます。田中さんは、文章の重複している部分を割愛したり、写真の構図を整えて、渋谷さんをお願いします。渋谷さんからプロの目で、“テニオハ”や“である調”、“であります調”、また、話し言葉を読み易く、週報のページに収まるように文章を整えて、総括、監修して頂いて、週報ができあがります。

話しは変わり少し前に戻りますが、私は平成4年3月に入会させてもらいましたが、入会5か月目から2年連続で週報を担当しました。最初は委員として、2年目は委員長としてでした。ある日、事務局より「クラブ会報の委員長会議が新潟のオークラホテルでありますから主席してください。」美人でやさしい声の田中さんに言われるともう断れません。私は仕事のやりくりをして出席致しました。確か大島ガバナーの年度だったと思います。会議が始まりまして、しばらくして、「三条ロータリークラブの会報は立派ですね。」と褒められ、一言、二言コメントを述べないといけなかったのですが、未だ入会して日が浅かったものですから、他クラブの週報を見たことも無いのですし、右も左も良く分からない状態でしたので、自分が褒められたと勘違い致しまして、しどろもどろの受け答えしかできませんでした。何しろ人前で褒められる事は今迄なかったものですから。しばらくしてから、自分が褒められたのではなく三条ロータリークラブの全員が褒められたのに気づきました。当時で三十数年の歴史の間、週報委員が毎年交代するわけですから、三条ロータリークラブ全員と事務局の田中さんが褒められたわけです。私は、鈍い方ですので、着席してから一瞬間を置いてからその事に気がつきまして、大変恥ずかしい思いを致し、冷や汗をかきました。

さて話を週報に戻させていただきます。週報委員会としましては、他の委員会も同じですがファイヤーサイドミーティングの前に予算書と事業項目を提出しなければいけません。7名全員の都合のよい日ということで、ファイヤーサイドミーティングの2、3日前のギリギリに日だったと記憶しておりますが、4つの名前の委員会を1年間どのように担当、運営していくのか、また予算はいかほどお願いできるのか等、7名による検討委員会を開きました。私はたたき台になる資料が乏しかったものですから前もって他のロータリークラブに所属している友人、三条2人、新潟2人からそれぞれのクラブの現況報告書を借り、4通りの報告書に目を通すことができ、そ

れを検討委員会に会議の資料として提示し、協議致しました。三条クラブの予算を1としますと、他のクラブでは経費削減の意味で色々と試みていらっしゃいますが、それでも当クラブの2.5から3倍です。三条ロータリークラブがS32年に発足し、渋谷さんの入会がS33年ですから、50年、半世紀になんなんとしております。繰り返しになりますが渋谷さんに心から感謝申し上げます。

私が数十年前に恥をかき冷や汗を流しましてから、ガバナー公式訪問の時の現況報告を通してのその年々のガバナーの三条クラブの広報に対するコメントを注意深く聞いてまいりましたが、私の知る限り大なり小なり褒めていただいております。各年度のガバナーから「三条ロータリークラブの週報のこの点を改善・修正してください。また修正したらいかがですか。」というご指摘はついぞ今まで聞いたことはございません。三条ロータリークラブ会報は花が咲き、実が実っているのではないのでしょうか。毎年クラブ会報の委員が順繰りに代わり、この50年間代々受け継がれてきた会報委員、クラブ全員の誇りであると思っています。

さて、今日の卓話はクラブ会報の卓話だけでなく、雑誌月間の雑誌委員としての卓話でもありました。あますところ、数分しか時間がございません。江戸時代の川柳に相撲取りの力士のことを『1年を10日で過ごす良い男』というのがありますが、雑誌委員として「1年を数分で過ごすずるいやつ」と言われそうですので、急ぎ雑誌委員の卓話に戻ります。

毎月頂く『ロータリーの友』これは大変良い雑誌です。今回、古いものから新しいものまでランダムに二十数冊読み返しました。右開きの2ページ目に記念講演の講演録が載っております。いくつも感動したのがありますが、その中で、2つ取り上げてみたいと思います。

2007年3月24日の国際ロータリー第2760地区ライラーセミナーの基調講演です。講師は奈良薬師寺管主の安田暎胤さんです。薬師寺というとすぐ高田好胤さんを思われる人がいらっしゃると思いますが、残念なことに、平成10年にお亡くなりになりました。高田好胤さんにずっと付き添い、高田さん亡き後薬師寺の管主になられた安田暎胤さんの『美しい将来の日本をつくるために』という演題の講演要旨です。

今から37年前に経済界の大御所で80歳近い松下幸之助さんが40歳代後半の薬師寺管主の高田好胤さんの講演会場を訪れ、こうおっしゃったそうです。『日本の戦後の経済は非常に順調すぎるほど成長した。このままいけば日本人の心がおかしくなる。あなた

が中心になって日本人の心を取り戻す運動をして欲しい。』と頼まれたそうです。そこで高田好胤さんが同志を募って『日本まほろばの会』を結成し、北海道から沖縄まで全国を廻って講演されたとのこと。その時の同志は、茶道裏千家の家元の千宗室氏、作曲家の黛敏郎氏、万葉学者の犬養孝氏、評論家の村松剛氏など、錚々たるメンバーです。その人々が40年前に現在の一部の日本人の心の荒廃を見抜いておられたわけです。しかし残念ですが、日本人のほんの一握りの人々と思いたいのですが心の荒廃はひどく現在、毎日事件の連続です。また、昭和30年代のことだそうです。高田好胤さんは、毎月、奈良から東京へ出かけられ政治家と会っておられたそうです。大野伴陸さん、三木武夫さん、池田勇人さん、懐かしい名前が挙がっていますが、その中で三木武夫さんがこんな話をなさったそうです。『われわれ政治家は法律をつくり、網を張って国民の安全を守る。しかし、どのように網を張って、いかに網の目を細かくしても、網の目をくぐろうとする人がいる。宗教家はその網の目をくぐらない人をつくっていただきたい。』といわれた話をなさったそうです。宗教と政治というものは樹木でたとえるならば、目に見える幹、枝葉が政治。目に見えない根っこの部分が宗教また心で、どんなに枝、幹が立派でも、根が腐れば木は枯れていきます。したがって、その根づくりが大事ではないか。根がしっかりしていれば、枝が折れ幹が倒れても、また新しい芽がふくことができます。つまり、心づくりが大事だと思うのです。とおっしゃっておられます。高田好胤さんが作られた「日本まほろばの会」の精神は現在は「薬師寺に二十一世紀まほろば塾」として安田暎胤さんが受け継いでおられます。“まほろば”とは古い日本語で、美しい所、素晴らしい所、中心地という意味だとおっしゃっております。そして「ほほろばの地」として5項目挙げられます。

1. 空気や水が美しく、自然環境が保たれ安心して食べられる食料が豊かに収穫できる所
2. 善き政治が行われ、経済が繁栄し、衣・食・住が充足して人々が幸せに暮らしている所
3. 教育機関や制度が充実し、文化活動が盛んに行われている所
4. 戦争、犯罪、弾圧、人種差別が無く人々が助け合い、円満に暮らしている所
5. 医療機関や社会奉仕が充実し、生涯を安心して暮らしている所

そのような理想郷を目指している点において言葉

は異なりますが、ロータリーの精神、ロータリーの4つのテストの内容を深く掘り下げますと、倫理的にはロータリークラブの精神と多くの点が共通していると私は深く感じました。

次に2007年3月25日、ロータリー第2690地区IMの特別講演です。講師は俳優の八名信夫さんです。あの青汁の「まずい！もう1杯！」のCMをしている方ですが「子供の教育」という演題で講演をなさっています。子供を怒るのではなく叱る。叱るというのは愛情が無ければできません。この子を何とかしてやろう、今のうちの何とかしてやろう、立ち直らせてやろう、そういう思いが無くては叱れません。自分の子供だけでなく、よその子供も愛情を持っていこう。大人たちが子供達をしっかりと見守っていこう。と10年、20年先の日本人の子供達の心を育て、昔のような温かい日本人の心を取り戻そうと頑張っておられます。

私はこの度、ロータリーの本を何冊も読み返してみても大変勉強になりました。最後になりますが浅学で洞察力の乏しい私の話で皆様のお耳を汚したことをお詫びして、卓話を終わらせて頂きます。



6月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土
1	2 ◆三条南RC クラブ・フォーラム 40周年準備打合せ	3 ◆三条北RC クラブ・フォーラム	4 ◆三条RC クラブ・フォーラム	5 ◆三条東RC クラブ・フォーラム	6	7
8	9 ◆三条南RC 夜例会 「創立40周年前夜祭」 於 ピアザ デル グラツィエ (記帳できます)	10 ◆三条北RC 会員卓話 予定	11 ◆三条RC 三条南RC創立 40周年記念式典 出席振替 休会	12 ◆三条東RC 会員卓話 本多昭一 会員	13	14 ◆三条南RC 創立40周年 PM2:00～ 於 VIP
15	16 ◆三条南RC 16日(月)→14日(土) 創立40周年 PM2:00～ 於 VIP (記帳できます)	17 ◆三条北RC クラブ・フォーラム	18 ◆三条RC 会員卓話 菊池 涉 会員	19 ◆三条東RC クラブ・フォーラム	20	21
22	23 ◆三条南RC クラブ・フォーラム	24 ◆三条北RC 夜例会 「会長・幹事慰労会」 (記帳できます)	25 ◆三条RC 夜例会 「会長・幹事慰労会」 於 松木屋	26 夜例会 「会長・幹事慰労会」 (記帳できます)	27	28
29	30 ◆三条南RC 夜例会 「会長・幹事慰労会」 (記帳できます)					30

※近隣RC例会変更のお知らせ！(記帳できます)

- 加茂RC — 6月19日(木) 夜例会 PM6:30～ 於 例会場
- 吉田RC — 6月27日(金) 夜例会 PM7:00～ 於 千ぐさ
- 燕RC — 6月26日(木)→27日(金)
新旧交代慰労会 PM6:30～ 於 燕三条ワシントンホテル

次週例会 6月4日 クラブ・フォーラム

次々週例会 6月11日 三条南RC40周年振替 休会

